

### こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい  
B:よい  
C:一部検討を要する  
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1)理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・職員で話し合い、理念・方針に基づいてどのような子ども像を目指すかを考え、今年度は「安心・信頼」「挑戦する気持ち」の2つの柱を掲げ、日々の教育・保育に取り組んできました。今後も職員で話し合いを持ち、やざき乳児保育園の特色を活かした教育・保育を目指していきたいです。また、自分たちの行っている活動を保護者へ発信し、子ども達の姿から理念・方針を伝えていきます。
	(2)理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3)理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか			○		
	(4)一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1)社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか			○		・コロナ禍で地域の方と十分に関わることができず、なかなか地域性を知ることができませんでした。今後は地域の方々との交流や地域の特色を理解することにも努めていきたいです。 ・初年度を踏まえ、更にやざき乳児保育園に合った教育保育課程の見直しをしていきます。入園から修了までの連続性を大切にしながら、まずは子どもを理解してその姿から計画を立てることを心掛け、PDCAサイクルを実施していきます。 ・コロナ禍での行事のやり方について、情勢を見ながら職員で話し合いを重ね、実施してきました。次年度の行事は子どもの育ちを踏まえた上で計画しました。
	(2)指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3)子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1)子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			・離乳食の進め方や幼児食への移行など保護者・保育者・栄養士が連携して行っています。今後も子どもの食事の状態を把握し、適切な対応ができるよう努めていきます。また、今年度は一人一人に合った形態や食事が楽しめるような行事食などに取り組んでいるので、次年度も継続して行っています。
	(2)子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3)子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4)子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5)子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○		・子どもが挑戦したいと思えるような環境や主体的に遊べる環境を作ることに取り組んできましたが、課題もありました。子どもの姿や育ちをよく知ることで、どんな環境や玩具、遊びを用意していくと良いかが分かってくるので、子ども理解をすることを意識していきたいです。そのために職員で子どもについて語り合う時間を持ち、一人一人を大切にして関わっていきます。今後も子どもが主体的に楽しく遊び込める環境作りを工夫していきたいです。
	(6)子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7)健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8)子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・様々な子ども達が在園しているということ踏まえ、一人一人の姿や生活形態を考慮した教育・保育を心掛けています。しかし、子どもが安心して過ごせるように保育者の温かく受容的な関わりや応答的な声掛け、保育環境の工夫など十分ではない面もあったので、今後の課題です。必要に応じて専門機関との連携を図り、子ども理解に努めたいと思います。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか			○		
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか					
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・本来ならばできたであろう懇談会などの話し合いの場を設けることはできませんでしたが、登降園時や保育参観の機会に保護者とのコミュニケーションをとったり、連絡帳でのやりとりを通して信頼関係を築くようにしてきました。また、クラスだよりやホームページ、動画配信などでも子ども達の様子を随時お知らせしてきたこともあり、保護者からも理解していただき保護者アンケートからはほぼ満足しているという意見を多くいただきました。今後の情勢はわかりませんが、私たちができる範囲で保護者との関わりや話し合う場を持つようにしていきたいです。 ・週2回(火・金)、子育て支援室「あっぷっぷ」を開催しています。手作り玩具やパネルシアター等、毎回親子が楽しめる場の提供を行っており、保護者からの相談にも丁寧に対応しています。また、毎月園だよりを地域に回覧し、保育園や子育て支援室の情報を発信しているため、今後も地域の子育ての拠点としての役割を担えるように努めていきます。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			<p>・看護師の専門性を活かし、様々な感染症への予防対策に努め、保護者へもお知らせを配信したり直接伝えたりして対策を講じてきました。 ・初年度ということ、あらゆる想定の中での避難の仕方を考え、避難訓練を実施してきました。訓練をする中で反省や課題もでてきたので、その都度、安全な避難方法について話し合いをしました。常に防災意識を持ち、安全に行動できるようにしていきたいです。 ・キャリアに応じてリモート研修に参加しています。教育・保育の質の向上に努めていますが、十分ではないので、今後も積極的に参加して勉強していきたいです。 また、来年度は外部講師を招いての勉強会を定期的に行っていく予定なので、職員みんなで取り組んでいきたいです。 ・入園の際に保護者に事業計画、苦情解決の仕組みについて明記した文書を渡し説明していますが、保護者アンケートより、保護者には周知されていないということがわかりました。そこで保育アプリ「コードモン」を活用していつでも保護者が見られるようにして改善していきます。 ・初年度を振り返り、反省や課題がたくさんありました。園内研修で話し合い、次年度に向けてどのような教育・保育を目指していくかを考えました。自己評価・反省→課題→改善という流れを大切にし、職員一人一人が意識して資質向上に努めていきます。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか	○				
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか			○		
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	○				
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか			○		
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか			○		

施設関係者評価は、次のページにあります。

やまぎ 乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

・保護者アンケートにおいて、Aのあたりが、ダントツ高い%で

あるので、小さい年令の子にも対応し、丁寧な対応を職員  
の方が見せているのだと思います。

・自己評価の報告で、課題もありませんが、反省や課題が

ないことに関しては、→ どんな点かあつたかを、去て検討する

べきです。何回も課題と書かれていますので！

・本年度 外部講師を招いてとありますが、意欲的に取組む  
事、…でしょうか。

令和 4 年 3 月 17 日

役職等

監事

氏名

飯田清美



やがき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

- ① 書面だけの評価になりますこと、ご了承ください。
- ② やがき乳児保育園の特性をいかした教育、保育とは、具体的にどのようなことなのか、お聞かせ下さい。
- ③ 「挑戦する気持ち」は、大人側から見た見方であって、0~2歳は、何? やってみたいの気持ちがあってそこから触って確かめたりするのはないでしょうか。0歳児12人、1歳児7人なら、なおさらだと思います。
- ④ 安全な環境作りを整えていくことが先で、そこから一人一人の発達がみられ、また安定した関係の中で自分の気持ちをあらわせるのはないでしょうか。
- ⑤ 乳児は、特定の大人との応答的な関わりの中で、自分の気持ちを出したり、親しみをもつて関わっていくと思います。取り組みの中で、「子どもが安心して過ごせるように保育者の温かく受容的な関わりや応答的な声かけ」とあり、またこれがエッセンスであり、その先に保育者から意図的に関わってヒックンといければよいと思います。
- ⑥ 挑戦したいと思える環境、また、主体的に遊ぶ環境で、どのような課題があったのか、具体的にお聞きしたいです。乳児は好奇心をもって見たり触れたりすること、物的環境よりも人的環境のもとで、模倣から自分ごとと受けかかっていると、思います。
- ⑦ 初年度とコトワ禍で大変、気苦労もあつたと思います。反面、やりがいもあると思います。早く結果を求めず、一年に一つを重点的に考え、取り組んでみたらよいと思います。

令和 4 年 3 月 8 日

大和善隣館

役職等 監事

氏名 堅田 光恵



やぎき乳児保育園の評価結果に対する意見・コメント

初年度でありながら、保護者の方々から  
高い評価を受けており、職員のがんばり  
が感じられます。来年度に向けての  
課題についてもしっかりと捉えている  
ので、より一層の精進を期待しています。  
ホームページ上のクラスだよりが、全て同一  
のものとなっておりますので、修正して下さい。

令和 4 年 3 月 10 日

役職等 監事

氏名 森 和美 印